

Rich ~ピチヤリ~

七飯町歴史館だより
第7号

ななえ古写真物語 VOL. 7

オリンピック ~昭和の本町~

昭和39年
本町セブンイレブン付近
聖火リレーの様子



いよいよ来月に北京オリンピックが開催されますね。世界のスポーツの祭典なので、新しいテレビを買って準備万全の方も多いことと思います。オリンピックになると何故か心躍り、また、観る者を感動させる何かがあるように思うのは私だけでしょうか？是非、北京開催も成功してほしいなと願っています。

さて、上の写真は、昭和39年に開催された東京オリンピックの聖火リレー時の様子ですが、よく注意してみると、実は七飯町の町並みなのがわかるでしょうか？道沿いに生えているマツや店の並びから、現在の場所では、国道5号沿いにある本町のセブンイレブン付近と想像されます。

おそらく記念パレードと思われる小学校の鼓笛隊の子供たちが歩いているところが、とてもどかで、今回の厳重警備の下で行なわれる聖火リレーからは想像できない雰囲気だと思えますし、また、伴走する車や沿道におかれたバイクや自転車などを見ても、昭和の古き良き時代を感じ取れます。

東京オリンピックは、日本初のオリンピックであると同時に、アジア初のオリンピックでもありました。また、戦後の荒廃から日本が立ち

直り、国際社会の一員として認められた大会でもあり、開会式が10月10日に行なわれたことを記念して、後に「体育の日」という国民の祝日が制定されました。「東洋の魔女」とよばれた女子バレーボールの活躍などが記憶にある方も多いことと思いますが、筆者はこの時、まだ生を受けていなかったため、残念ながら当時の盛況ぶりは想像でしか話せません。

ですから、オリンピックの話だけではなく、写真の町並みもちょっと見てみましょう。

リレーが行なわれている道路は現在も国道5号として、七飯町の主要道路になっており、明治9~10年に植栽されたアカマツも写真に写っていますが、現在よりもその本数が多いことが伺われます。七飯町の開発が進むにつれて少しずつ伐採されたのかもしれませんが、左奥に写っている店は「市戸商店」と呼ばれ、軒下に掲示されているガムなどの看板がとてもいい味をだしています。今、こういった看板が残されていたら、とてもいい資料になっていたのではないかとちょっと残念にも思います。

北京オリンピックを観る前に、七飯町でも聖火ランナーが走ったという歴史を少し思い出していただければと思う一枚でした・・・。

1日

「ななえの史跡を歩こう」と題し、町内の史跡見学会を開催しました。今年は、箱館戦争に関する史跡をバスで巡回、約20名が参加しました。

残念ながら悪天候のため、予定していた台場山登山は中止となりましたが、七飯町の歴史について再発見して頂けたようです。



雨の中解説を受ける参加者たち



講師の解説を熱心に聞く参加者



15日

横津の植物観察会を開催しました。幸い天候に恵まれ、約20名の参加者が、植物の専門家の解説を聞きながら、烏帽子岳までの道のりを観察して歩きました。途中、タカネザクラやカラマツソウなどの高山性植物などを見ることができました。

いつも眺める横津岳に広がる植物たちの息吹を感じる1日でした。

28日

ジュニア探検クラブで「登山に挑戦!」と題して、七飯岳登山を行いました。途中、ヒグマの糞をみつけコガネムシをさがしたり、ベニバナイチヤクソウを観察しながら、頂上めざしてひたすら歩きました。

頂上からは七飯町が一望でき、大沼方面には駒ヶ岳がきれいに見えました。ちょっと登山は疲れたけど、探検みたいで楽しかった?かな・・・。



がんばる
ちびっこたち・・・

29日

親子体験教室「ふぁみりーでいみゅーじあむ」で七夕かざりづくりをしました。オリジナルの短冊とふきながしをつくって、その後、七夕にまつわる絵本を読みました。ちょっと工作はむずかしかったかな?参加してくれたみなさん、ごくろうさまでした。

8月の予定

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水 夜の博物館
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月 博物館実習生研修
12	火
13	水
14	木
15	金 ジュニア探検クラブ「大沼をきわめる1」
16	土 ジュニア探検クラブ「大沼をきわめる2」
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日 口ビー展 CLOSE
25	月
26	火
27	水 企画展 CLOSE
28	木
29	金
30	土
31	日

8月の休館日はありません。

レーキが甦りました!

友の会のみなさんが、玄関横にあるレーキの錆び落としをしてくれ、あざやかな赤色が甦りました。一度ご覧ください。(S)



編集後記 ~tawagoto~

この間、よく館を訪れる中学生たちが、玄関前で一生懸命、自転車を直していた。どうやらパンクしたらしい・・・。普通なら、自転車屋で修理してもらおうところだろうが、彼らは、チューブを購入して自分たちで交換しようと試行錯誤していた。感心である。しばらく見守っていると小一時間ほどで修理した。改めて子供の可能性の高さをみれていい気分になったが、いくつかのパーツが残されていたことだけが心配でならない。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~

第7号

平成20年7月22日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp